



新しい防災マップが完成しました

危機管理課 ☎(582)1119 ✉(583)5066

近年、大規模な地震や大雨による水害など自然災害が全国各地で発生しています。「災害はいつでも起こり得る」と考え、自助・共助・公助の連携による「災害への備え」をすることが大切です。

3月に配布した新しい防災マップは、野洲川および琵琶湖における想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図などを掲載し、国の「避難勧告等に関するガイドライン」にかかる改正内容などを反映した改訂版です。改訂版防災マップに掲載された「備え」のポイントをシリーズで紹介していきます。

危機管理課からのワンポイントアドバイス

新しい防災マップは9年ぶりに改正された保存版です。大切に保管し、活用してください。

日ごろから危機意識を持ち、このマップを活用して、想定される災害や避難場所・避難経路を確認するとともに、家庭での備蓄や家族の連絡体制などについて話し合ってください。



ホームページ

防災マップは市役所と各地区会館で配布しているほか、市ホームページでもご覧いただけます。



ポイント1

◇防災・減災の基本

- ・自分の命は自分で守る「自助」
 - ・隣近所、地域コミュニティで協力する「共助」
 - ・市が進める災害対策「公助」
- の協力と補完です。

大規模災害からの教訓から、市民の皆さま一人ひとりの自覚、地域での助け合いが住民の命を守る局面で最も重要となります。平常時から危機意識をもって備えてください。

ポイント2

◇防災マップの使い方

防災マップは守山市で想定される地震災害や水害について取りまとめたものです。災害別に想定される被害の可能性を参考に、いざという時の対策を考えておいてください。

避難所マップや非常持ち出し品チェックリストなど、災害の種類に関わらず、日ごろから備えておくべき共通項目を参考に、いざという時の行動や連絡方法を考えておいてください。